

第1回定例ミーティング議事録 「新年さっそく役割を押し付けあおうの巻」

2018.01.14

文責：東

1. アイスブレイク：自己紹介

名前、学校、学年、近況。恒例の1セット。各々が初詣で引いたおみくじの話が鉄板だった。

2. 役職決め、役職確認

院ミの活動を切り盛りする「幹部」が、この回をもってM2からM1へ代替わりした。昨年末から人選が進んできていた主要な役職の確認と追補が行われた。（別ファイル参照）

今後、何か活動をしたいときは、代表ではなく各局の局長に話を通せばよい。

役職に就いた人は各自、前任者に連絡を取り、引き継ぎを。

企画局、全国院生委員はまだもう数名募集中。

Google Driveのアカウント扱い、Google Photoへのアップロード基準については改めて定める必要があるようだ。

3. 今年度活動方針決め

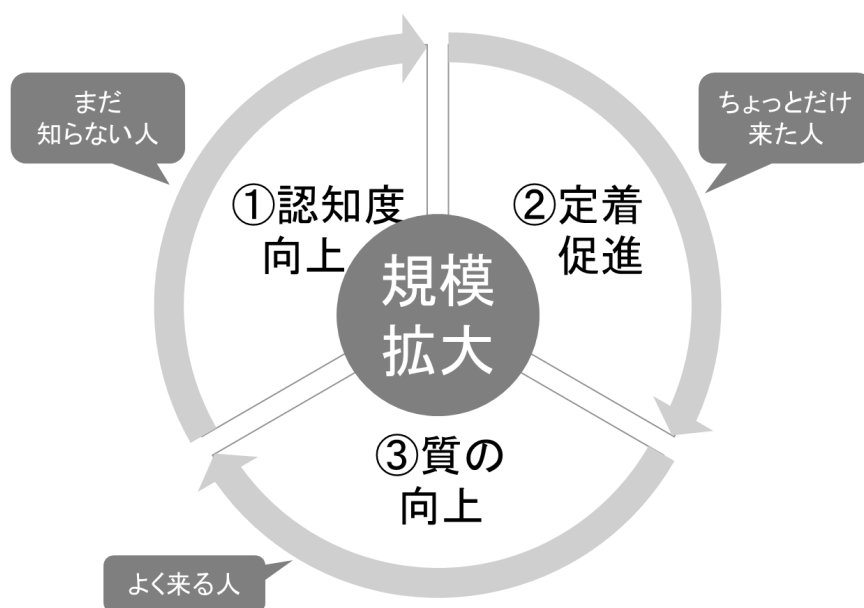
・活動目的：「院生生活を楽しく充実したものにする」...継承

現メンバー参加のきっかけは、「友達、仲間、コミュニティを増やしたい」が大半だった。

よって「特定の何かをするために人を集める」というより「人の輪を広げる」ことそれ自体が目的であるという意味合いが強い。

・活動方針・具体案

下記の3本柱を意識し、案を出した。



①認知度の向上

・交流会ごとではなく、院ミ自体のPRポスターを制作、通年で大学に貼っておいてもらう。

・Facebookに課金...生協との折衝は不可欠。軽い気持ちでの実施は難しい。

・「大学生協に未加入の大学の院生でも入れるよ」の1文を、各媒体に追加

・大学ごとの新入生歓迎会を増やす...各大学生協の専務次第ではある。

②院ミへの定着促進

・定例MTの直前告知を改め、年間スケジュール制にし、日にちをあらかじめ決めておく。

- ・ イベントごとではなく、「院ミ全体」のグループラインを創設する。
 - ・ 定期的なイベント企画
 - ・ 定着する人とならない人の違いについて踏み込む
- ...人の縁?・上級生と下級生がいっしょにイベントを企画するようにしてみてもどうか。

③質の向上

- ・ もっと大学院生らしい活動をしてみてはどうか
- ...研究紹介（大学によっては院生同士で研究紹介をし合うイベントがある）、就活セッション強化（もっとOBと交流し生の声を聞く、院生専門の就活サイトの利用や企業の方の招へい、など）

4. 年度スケジュール決め

さらっと確認

5. 各企画（春交流～高尾山）の担当者決め

- ・ 追いコン(3月)...川井
- ・ 春の交流会（4/21と5/13）...櫻井（人事権）
- ・ 各大学新歓（春）...（生協の専務次第）
- ・ BBQ（去年は6月上旬）...矢口
- ・ 自然セッション相当イベント（去年は7月はじめに高尾登山）...石野

担当者立候補がなかなか挙がらず、多くは人事采配責任者を決めるに留まった。彼らから今後、実務に指名されたら快諾するように。

6. 冬合宿詳細報告

鬼怒川温泉だぜ！（別ファイル参照）